

平成 17 年 10 月 17 日

各 位

会社名 宇部興産株式会社
代表者名 代表取締役社長 田村浩章
(コード番号 4208 東証第1部・福証)
問合せ先 IR広報部長 泉原雅人
(TEL 03-5419-6110)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 5 月 13 日に発表しました平成 18 年 3 月期中間業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）及び平成 18 年 3 月期通期業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間業績予想の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）

①中間連結業績予想数値の修正

(単位：億円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 5 月 13 日発表)	2,780	115	70	40
今回修正予想(B)	2,780	170	135	60
増減額(B-A)	0	55	65	20
増減率	0.0	47.8	92.9	50.0
前期(平成 17 年 3 月期中間)実績	2,723	106	51	23

(修正の理由)

- 売上高につきましては、化成品・樹脂セグメントにおいて原料価格が期初想定を下回ったことが売価にも反映し、それに伴う売上減がある一方、建設資材セグメントにおいてグループ会社におけるセメント・生コン製品の販売増などもあり、全体としては前回予想と変更ありません。
- 営業利益につきましては、前回予想に比べ全セグメントとも増益基調で推移しているため、増益となる見込みです。特に化成品・樹脂セグメントにおいて、良好な需給バランスを背景にカプロラクタムのスプレッド(製品と原料の値差)が期初想定より拡大していることが大きな増益要因となっています。また、製鋼・鋳造品や自動車産業向け成形機が好調なことなどによる機械・金属成形セグメントの増益や、セメント数量増などによる建設資材セグメントの増益も、寄与しています。機能品・ファインセグメントも前回予想を若干上回る利益を確保する見込みで、順調に推移しています。
- 経常利益につきましては、上記営業増益に加え、受取配当金の増加や支払利息の減少等、金融収支の改善などにより、前回予想を大幅に上回る見込みです。
- 当期純利益につきましても、本年 3 月末に解散決議した米国アルミホイール会社の清算にかかる損失増などの特別損失の増加があるものの、上記経常増益の結果、前回予想より増益となる見込みです。

②中間単独業績予想数値の修正

(単位：億円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 5 月 13 日発表)	1,340	65	45	25
今回修正予想(B)	1,304	94	99	46
増減額(B-A)	△ 36	29	54	21
増減率	△ 2.7	44.6	120.0	84.0
前期(平成 17 年 3 月期中間)実績	1,223	74	62	47

(修正の理由)

- 売上高につきましては、化成品・樹脂セグメントにおいて原料価格が期初想定を下回ったことが売価にも反映し、それに伴う売上減などにより、前回予想に比べ若干の減収となる見込みです。
- 営業利益・経常利益・当期純利益につきましては、連結と同様の理由により、いずれも前回予想を上回る見込みです。

2. 平成18年3月期通期業績予想の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

①通期連結業績予想数値の修正

（単位：億円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年5月13日発表)	5,820	330	240	130
今回修正予想(B)	5,860	380	290	140
増減額(B-A)	40	50	50	10
増減率	0.7	15.2	20.8	7.7
前期（平成17年3月期）実績	5,627	323	236	92

（修正の理由）

- ・売上高につきましては、グループ会社におけるセメント・生コン製品の販売増による建設資材セグメントの売上増などにより、増加する見込みです。
- ・営業利益につきましては、原油・ナフサ価格の今後の動向や、デジタル関連分野の需要回復度合など、先行き不透明な状況も踏まえ、中間期の増益をほぼ通期の増益として反映させる形で、増益を見込んでおります。
- ・経常利益・当期純利益についても営業利益と同様です。

②通期単独業績予想数値の修正

（単位：億円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年5月13日発表)	2,780	180	130	70
今回修正予想(B)	2,740	190	160	75
増減額(B-A)	△ 40	10	30	5
増減率	△ 1.4	5.6	23.1	7.1
前期（平成17年3月期）実績	2,491	203	160	74

（修正の理由）

- ・売上高につきましては、中間期と同様の理由により、売上が減少する見込みです。
- ・営業利益・経常利益・当期純利益につきましては、連結と同様、中間期の増益と今後の不透明な状況を踏まえ、通期でも一定の増益を見込んでおります。

以 上